

事業所防災リーダー通信 **2023** Vol.43

事業所防災リーダーに向けて、防災知識や防災に関するお知らせ等を定期的に発信します。



色々な防災訓練を実施しよう

災害時に冷静な対処ができるように、防災訓練は繰り返し行いましょう。

災害時に臨機応変に対応するためには、様々な状況を想定して訓練を行うことが大切です。

企業における防災訓練には、安全確保の目的以外に「事業を継続させる」という目的もあります。

安全を確保した後、いかに早く災害前の状態に戻せる組織作りができるかを意識しましょう。

事業所単位で行える防災訓練の例

1 出火防止訓練

出火を防ぎ、被害を最小限にするための訓練です。揺れが収まってから落ち着いて火を消す、避難を開始する際に電気やガスを元から切る等、出火防止方法を学びます。



2 通報連絡訓練

火災、救急・救助、地震発生の災害等、消防機関に正しく通報するための訓練です。消防役と通報者役に分かれて通報の練習を行い、119番通報の仕方、通報時のポイントを学びます。



3 避難訓練

火災や地震等の災害時に、安全に避難するための訓練です。避難に必要な蓄え、避難経路、避難方法、避難先等を学びます。



この他にも、社内宿泊訓練、社外訓練、部署別での訓練等、実際の災害を想定した訓練を行うといいでしょう。商業施設・病院等では、お客様の安全を確保する「避難誘導訓練」を行う必要があります。

訓練後にすべきこと

防災訓練を終えた後は参加者にアンケート等を実施し、課題や問題点の洗い出しを行いましょう。

社内の防災マニュアル等を見直し、適宜アップデートさせることで従業員の安全確保に役立ちます。

東京消防庁からのお知らせ



東京消防庁では、毎月、季節やそのときどきで問題になる防災にまつわる事柄をテーマに情報発信をしています。

3月は「**救急車の適時・適切な利用にご協力を!**」をピックアップしています。是非ご覧ください!

東京消防庁HP <https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/lfe/kyuu-adv/tksei01.html>